



様式第2号 (第8条関係)

2-006-11

(第1面)

産業廃棄物処理計画作成 (変更) 報告書

2023年 5月 24日

(宛先)

埼玉県 西部環境管理事務所長

報告者 東京都杉並区宮前1丁目15番13号
株式会社ホーク・ワン
代表取締役 菊池健太
(電話番号 03-5336-6893)

令和5年度の産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成(変更)したので、埼玉県生活環境保全条例第20条第2項前段(後段)の規定により、次のとおり報告します。

事業場の名称	株式会社ホーク・ワン 志木支店
事業場の所在地	埼玉県新座市東3-8-3
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
変更の概要	

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	建設業
② 事業の規模	約6,920百万円
③ 従業員数	15名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none">・ガラス・陶磁器くず→破碎・選別(委託)→再生利用・金属くず→再生利用施設に運搬→破碎(委託)→再生利用・建設混合廃棄物→破碎(委託)→最終処分場に再生利用または埋立処分・紙くず→破碎、減容施設(委託)→再生利用・廃プラスチック→破碎、減容施設(委託)→再生利用または埋立処分・木くず→破碎、減容施設(委託)→再生利用または焼却

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
工事支店→本社→産業廃棄物管理担当			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】別紙参照		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) 分別することにより排出量を明確にし無駄をなくすよう心掛け排出量の制御を図っている		
② 計画	【今年度（令和5年度）目標】別紙参照		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 今後現場が増えていく中で、どのように産業廃棄物の排出量を抑制していけばよいかについて話し合う		
産業廃棄物の分別に関する事項			
① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 産業廃棄物の種類ごとに仕分けをしている		
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記同様、産業廃棄物種類ごとに仕分けの取組みを続行		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t

	(今後実施する予定の取組)
--	---------------

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】 別紙参照		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

	<p>(これまでに実施した取組)</p> <p>優良認定処理業者及び再生利用者への委託促進</p>
--	---

(第5面)

② 計画	【今年度（令和5年度）目標】別紙参照		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
優良認定処理業者及び再生利用業者の選定			
※事務処理欄			

産業廃棄物の種類別排出量の排出の抑制に関する事項

産業廃棄物の種類	産業廃棄物の種類						計(t)
	ガラス・陶磁器くず	金属くず	建設混合廃棄物	紙くず	廃プラスチック	木くず	
前年度(R4年度)の実績(t)	252.800	3.051	218.530	30.390	44.520	184.195	733.486
本年度(R5年度)の目標(t)	253.000	3.000	219.000	30.400	45.000	185.000	735.400

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状:R 4年度実績

産業廃棄物の種類	産業廃棄物の種類						計(t)
	ガラス・陶磁器くず	金属くず	建設混合廃棄物	紙くず	廃プラスチック	木くず	
全処理委託量(t)	252.800	3.051	218.530	30.390	44.520	184.195	733.486
優良認定処理業者への 処理委託量(t)	252.800		212.992	17.130	32.900	162.800	678.622
再生利用業者への 処理委託量(t)	232.500	3.051	212.992	30.390	32.900	162.800	674.633
認定熱回収業者への 処理委託量(t)							0.000
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量(t)							0.000

②計画:R 5年度目標

産業廃棄物の種類	産業廃棄物の種類						計(t)
	ガラス・陶磁器くず	金属くず	建設混合廃棄物	紙くず	廃プラスチック	木くず	
全処理委託量(t)	253.000	3.000	219.000	30.400	45.000	185.000	735.400
優良認定処理業者への 処理委託量(t)	253.000		215.000	18.000	40.000	170.000	696.000
再生利用業者への 処理委託量(t)	240.000	3.000	215.000	30.400	40.000	170.000	698.400
認定熱回収業者への 処理委託量(t)							0.0
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量(t)							0.0

(第6面)

備考

- 1 「変更の概要」の欄は、変更の報告の場合に記載することとし、その記載に当たっては、変更した部分について変更前及び変更後の内容の概要を対照させること。
- 2 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記載すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記載すること。
 - (2) ②欄には、製造業における製造品出荷額（前年度実績）、建設業における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関における病床数（前年度末時点）等、業種に応じて事業規模が分かるような前年度の実績を記載すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物について発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記載すること。
- 3 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量及び自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記載すること。
- 4 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記載するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（昭和46年政令第300号）第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、再生利用業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の4の2第1項の認定を受けた者）への処理委託量並びに認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記載すること。
- 5 それぞれの欄に記載すべき事項の全てを記載することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記載し、当該欄に記載すべき内容を記載した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記載し、当該欄に記載すべき内容を記載した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記載すべき事項がないときは、「一」を記載すること。
- 6 ※印の欄には、記載しないこと。
- 7 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。